

## ウンピョウの「マリン」が死亡しました



元気なころの「マリン」

よこはま動物園で飼育していたウンピョウの「マリン」が死亡しましたので、お知らせします。

### ○ウンピョウ「マリン」

- (1) 性 別       メス
- (2) 出 生 日   平成 19 年 3 月 26 日 (13 歳)
- (3) 死 亡 日 時 令和 2 年 4 月 28 日 (火) 午前 8 時死亡確認
- (4) 死     因   腎機能不全 (副腎腫瘍の疑い)
- (5) 経     過   4 月 16 日から食欲低下が見られたため、18 日に麻酔下で検査を実施したところ腎機能不全が認められました。状態が悪化し 26 日からは点滴による治療を行いました、28 日朝死亡を確認しました。

### ● マリンのプロフィール

マリンは、平成 19 年 3 月 26 日にズーラシアで生まれました。一般的なウンピョウより尾が 30cm ほど短いのが特徴で、全体的に色味が濃い個体でした。時々「だるまさんが転んだ」の様に、急に動きを止めることもあり、寝室から出すのに苦労したこともありました。元気な頃は、飼育員が呼ぶと壁を蹴り上げて寝台にやって来て、網越しに与えたエサを食べていました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】  
ウンピョウについて

和名	ウンピョウ
英名	Clouded Leopard
学名	<i>Neofelis nebulosa</i>
分類	食肉目 ネコ科
分布	ネパール東部から中国南部、東南アジア、スマトラ島、ボルネオ島
生態	低地の熱帯雨林から標高 2,500m の落葉樹林帯まで、様々な環境の森林に生息しています。樹上での生活に適応していると言われ、通常は単独で行動します。体の斑紋が雲形に見えることが、この種の名前の由来となっています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I: 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 II 類 (VU): 絶滅の危険が増大している種
国内飼育頭数	3 園館 6 頭 (オス 3 頭、メス 3 頭) ※令和 2 年 4 月 29 日現在
当園飼育頭数	4 頭 (オス 1 頭、メス 3 頭) ※令和 2 年 4 月 29 日現在 ※今回死亡した個体は含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）

※現在臨時休園中（今後の開園状況については、ご来園前に公式ホームページでご確認ください。）

- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から  
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間

- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1

- ◆問合せ先：045-959-1000